

令和7年度第2回 蓮田市総合振興計画審議会会議録

招集日	令和7年12月19日(金)	
開催場所	蓮田市役所 303～305会議室	
開催日時	開会 令和7年12月19日(金) 午前 13時30分 閉会 令和7年12月19日(金) 午前 15時00分	
出席状況 (委員)	会 長 中 山 和 久	出席 ・ 欠席
	副 会 長 奥 沢 信 男	出席 ・ 欠席
	委 員 石 井 文 枝	出席 ・ 欠席
	委 員 光 野 春 生	出席 ・ 欠席
	委 員 武 藤 康 史	出席 ・ 欠席
	委 員 加 藤 智 子	出席 ・ 欠席
	委 員 田 口 桐 子	出席 ・ 欠席
	委 員 寺 澤 亜 希 子	出席 ・ 欠席
	委 員 馬 場 干 児	出席 ・ 欠席
	委 員 松 澤 行 男	出席 ・ 欠席
出席職員 (策定委員、事務局)	<p>【蓮田市総合振興計画策定委員】</p> <p>蓮 田 市 長 山 口 京 子 副 市 長 加 藤 繁 教 育 長 西 山 通 夫 総 合 政 策 部 長 金 子 克 明 総 務 部 長 高 橋 司 環 境 経 済 部 長 初 野 尚 久 健 康 福 祉 部 長 森 上 和 代 都 市 整 備 部 長 高 橋 宏 治 上 下 水 道 部 長 中 田 俊 之 会 計 管 理 者 柴 田 賢 次 消 防 長 小 野 寺 潤</p>	<p>学 校 教 育 部 長 安 田 修 一 生 涯 学 習 部 長 清 野 哲 議 会 事 務 局 長 遠 藤 忠 則 監 査 委 員 事 務 局 長 松 永 恭 武 都 市 整 備 部 参 事 兼 道 路 課 長 門 井 政 治</p> <p>【事務局】</p> <p>政 策 調 整 課 長 細 沼 誠 政 策 調 整 課 副 主 幹 木 村 幸 歩 政 策 調 整 課 主 事 西 谷 美 香 政 策 調 整 課 主 事 大 熊 一 輝</p>
傍聴者	0名	
1 開会	開会宣言	
・ 会長挨拶	《中山会長より挨拶》	
・ 市長挨拶	《山口市長より挨拶》	

2 委嘱式	<p>《新任委員の委嘱》</p> <p>続きまして、次第の2「委嘱式」でございます。</p> <p>本委員会の委員ですが、蓮田市議会の山田委員から武藤委員へ変更となっております。会議に先立ちまして、新しく委員になられた方へ委嘱状の交付を行います。</p>
3 議題	<p>(政策調整課副主幹)</p> <p>続きまして、次第の3「議題」でございます。</p> <p>蓮田市総合振興計画審議会条例第5条第2項に基づきまして、これからの議事進行を中山会長にお願いしたいと存じます。中山会長、よろしくお願い申し上げます。</p>
・ 定足数の確認	<p>(委員10名全員出席のため、会議の成立)</p>
・ 傍聴者の確認	<p>《議長より傍聴者の確認》</p> <p>(傍聴者0名)</p>
(1) 蓮田市第5次総合振興計画の進行管理について	<p>(議長)</p> <p>初めに、議題(1)「蓮田市第5次総合振興計画の進行管理について」を審議いたします。</p> <p>事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>《事務局から資料2・3について説明》</p> <p>(奥沢副会長)</p> <p>一点目は、資料2の令和6年度の進行管理について、全部で主要事業が225ある中で、「達成」と評価した事業はどれくらいあるのですか。</p> <p>二点目は、これは令和6年度の評価ですが、10年間の評価はどうなっているのでしょうか。第6次を策定する上で、第5次を評価することは大事だと思いますが、第5次としての評価はどうされるのでしょうか。</p> <p>(政策調整課長)</p> <p>今把握しておりませんが、後日、集計し報告させていただきたいと思っております。</p> <p>また、資料2の事業の達成度は令和6年度に限られていますが、現在、第5次の令和6年度までの暫定評価を進めています。2月の各課のヒアリングを経て、総括を行い、第6次の策定を進めていきます。</p>

(石井委員)

環境教育学習館がとてもすばらしく、広い公園とともに建物も新しくなり、市民の皆さんに知ってもらえたらよいと感じました。入口が砂利道でとても狭いので、そこの整備を早めていただきたいと思います。

(生涯学習部長)

周辺の整備につきましても、関係課と調整し、市民の皆様が快適に使えるよう調整して参ります。

(都市整備部参事)

県道から入っていくと、砂利道になっているかと思いますが、来年の3月末をめどに工事を進めているところですので、もうしばらくお待ちください。

(環境経済部長)

環境学習館は、みどり環境課で設計し工事をして、完成後に社会教育課に引き継いでいます。設計の段階で環境学習館は南側にも大きな入り口があり、そちらがメインの入り口として設計していました。北側の入り口についても整備を進めています。

(議長)

各課が連携して充実を図っており、頼もしく感じました。

(奥沢副会長)

環境学習館について、環境学習機能を更に充実させていただきたいと思います。県施設の北本自然観察公園の水準までは望みませんが、環境展示コーナーにおいて、もう少し環境に関する展示を充実させてほしいという要望です。

(環境経済部長)

従前は、環境のみの施設でしたが、今は社会教育施設という大きな視点での施設となりました。黒浜沼に隣接していることもあり、豊かな環境を身近に感じられる施設だと思います。水田もあり、黒浜沼を守ることとも考えて進めていきたいと思います。北本市の施設のようにはいきませんが、努力していきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

(生涯学習部長)

環境学習館については、「人と自然が共生できるまち蓮田」をテーマにリニューアルし、黒浜沼をはじめ、市内に生息する生き物や自然環境について学習することができる施設となっています。利用者同士が交流で

きるスペースや催し物等で利用できる会議室等、地域の方々が身近に手軽に多目的に利用することができる地域コミュニティの場として生まれ変わりました。月一回の小中学生向けの元理科教員による理科講座、自然環境講座や自由研究の相談など、お子さんを中心に幅広い世代の人を対象とし、自然環境の理解や関心を深める機会を提供したいと思っています。北本市の施設や県立のほかの施設を参考にし、展示等も充実させていきたいと考えております。

(議長)

私の大学もスクーリングを北本市でやっているのですが、環境学習館のできるのであれば近いので有難いなと思います。水の環境に焦点を絞れば、北本市に劣らないものが作れるのではないかと思います。

(光野委員)

黒浜沼周辺の自然を大切にする会のセミナーを聞きましたが、非常に長い歴史を持っていることを知りました。ただ、その中で担い手の方々が高齢化してきていて、今回の環境学習館のリニューアルを含め、若い方がそういった活動に参加するきっかけとなればよいと思っています。

もう一点、子育ての部分についてお伺いしたいのが、不登校の生徒に対しての取組について、不登校の生徒は実際のところ増えているのか、減っているのか、市内にどのくらいいるのか把握できているのでしょうか。不登校のお子さんの居場所づくりについては、取り組んでいる活動もあると思いますが、横の連携があるのか、今後居場所をつくる予定があるのか等、教えていただきたいと思います。

(学校教育部長)

文部科学省では、経済的な要因や病院等を除いた理由で年間30日以上欠席のお子さんを不登校と位置付けています。蓮田市では、ここ数年増加傾向です。

子どもたちの居場所づくりについて、教室に入れない状況の生徒については、こころのホット相談室が各中学校に設置されていて、月～金にこころのホット相談員が対応をしています。それ以外のサポート体制については、スクールカウンセラーが定期的に各校を回り相談に応じたり、スクールソーシャルワーカーも1名おりますので、さまざまな機関と連携して取り組まなければいけない家庭環境のお子さんにも対応している状況です。

一人ひとり状況が異なるので、子ども本人はもちろん、背景にある保護者や家庭環境まで目を向けていかないとなかなか改善しない状況ですので、まずは、不登校の未然の防止、魅力ある学校づくりを推進しつつ、現在不登校のお子さんについては家庭訪問などを定期的に行いながら、

学校に目が向くように、また、将来について考えられる機会をできるだけ提供するかたちで対応しています。学校外では、任意団体で子どもたちに声をかけて働きかけてくれている団体もあります。生涯学習部でも子ども支援課で対応している事業もありますので、生涯学習部長から説明させていただきます。

(生涯学習部長)

不登校に限らず、お子さんを取り巻く環境は複雑化しているので、お子さんを支援できるよう、蓮田駅西口にあるプレックス・キッズにおいて、子どもたちが自由に過ごせる空間を市の独自事業として実施している状況です。こども食堂の支援もしております。

(学校教育部長)

補足ですが、学校内での不登校生徒の居場所として、黒浜北小学校の教育センターで適応指導教室エコーという場を週3日開室しています。学校に足が向かないお子さんが、学年の隔てなくさまざまな活動をしていける居場所として設置しています。

(健康福祉部長)

貧困を起因とした養育能力に乏しい家庭のお子さんのために、学習支援事業を行っています。学校に行けなくても地域の場所には来ることができれば、そこで学習できます。また、その学習教室に来られなくても、訪問して親御さんの相談にも対応する事業を行っています。小学校3～6年生に対しては勤労青少年ホーム、中高生に対しては中央公民館で地域の支援者とともに見守っていく事業を行っています。

(議長)

各課が連携していく必要があると思いますので、よろしくお願ひします。

(田口委員)

施設やサービス等進んでいるのですばらしいと思って拝見しています。黒浜沼周辺の自然を大切にす会の高齢化の話がありました。蓮田市ではないのですが、放課後等デイサービスの人員不足で、人をいくら募集しても応募がない状況のため苦肉の策で隙間時間のアルバイトを活用し、見守り人員の確保をしている話をうかがいました。

環境学習館も学童保育も充実されたということで、形をつくり、受け入れ態勢を整えてくださることはとても大切なことですが、継続して実施していくためには人員の確保は課題だと思います。市のほうでは、人員確保のための動きや仕組みはあるのでしょうか。

(生涯学習部長)

民間の保育園については詳細を把握していませんが、公立保育園の職員は正規職員と会計年度任用職員で運営しており、隙間時間のアルバイト等の活用はありません。指定管理で運営している学童保育所については、毎月運営会議をやらせていただいています。例えば指導員が病気で来られないと代わりの方が来ていると聞いていますので、安心安全にお子さんをお預かりできる体制を整えております。

(馬場委員)

資料2の122ページ、公共事業下水道整備事業のDOにストックマネジメント計画に基づいて汚水管梁の調査点検を実施したとあります。県下のみならず、下水道の周りの空洞に伴う問題が全国的に起こっていますが、点検した結果問題点があったのか、なかったのか、また、そういうことを意識して点検をしているのかを確認したいです。

(上下水道部長)

下水道ストックマネジメント計画は、保有資産についてどのようにマネジメントしていくのかという計画です。具体的には施設の保守点検とそれに対する計画を立案していくものです。

ご質問のとおり、八潮市の事故も念頭にあるかと思いますが、そういったものを見つけ、早期に対応していくための点検です。ただ、安心していただきたいのは、八潮市のケースは県の流域下水道で、深さ15メートルにある口径4メートル以上の管だと思います。蓮田市が管理している管の中には、口径4メートル以上のものは存在しないので、仮に事故が起きたとしても、大規模な災害にはなりません。市内の最大口径は2.5メートル程度であり点検においても大きな損傷は見つかっておりません。ただし、管路自体は古く、下水道の耐路年数は一般的に50年といわれ、蓮田市内の一番古いもので現在47年を経過しています。点検や維持管理を徹底して未然に事故等を防いでいきます。

(寺澤委員)

子どもたちのアンケートで、半分以上が蓮田はいいまちだと思っているという結果でした。一方で、蓮田とは違うまちに行ってみたいと言う子どもも半分くらいいたと思います。一度蓮田を離れても、やっぱり蓮田がいいなと思って戻って来てもらうための魅力あるまちづくりがポイントになると思うのですが、まず、子育てに関して、セールスポイントとして、何を一番推しているのでしょうか。

(生涯学習部長)

妊娠、出産、子育て、教育を切れ目なく支援するために窓口を教育委員会に一本化しています。ワンストップで手続きできるようにするとともに、切れ目のない子ども、若者、子育て支援に力を入れています。保育園、認定こども園、学童保育所等の充実にも積極的に取り組んでおり、蓮田駅西口行政センターの中に、地域子育て支援拠点、一時預かり保育所、ファミリーサポートセンター、子ども家庭センターが一体となった施設を開設しています。必要な支援をコーディネートする子育てコンシェルジュや保健師、看護師、助産師、管理栄養士といった専門職の配置をしています。

また、子育てガイドブックを作成・配布して、わかりやすいサービスの周知にも努めていますし、公園など、子どもたちが楽しく遊べる施設をはじめ、親子で楽しめるイベントも開催しています。蓮田市の取組によって、子育てがしやすいというイメージをもってもらえるようなまちづくりを進めていきたいと考えています。

(寺澤委員)

行政が一生懸命行っている事業を、受け取る側がどのようにキャッチするかがポイントだと思います。若い子たちはSNSを見て実行に移せると思うのですが、年齢が上の世代はなかなかSNSからは得にくいので、情報をどのように発信していくのか、発信の仕方にどのような対策をしているのか教えてください。

(健康福祉部長)

高齢者向けのスマートフォン講座を各地域で行っています。スマートフォンの使い方、買い物の仕方、LINEでお孫さんと話ができる、写真が撮れる、などを一緒に学んでいく取組をしています。

また、生活に必要な情報は、民生委員や地域包括支援センターを通じて、手渡しで、対面で話をしながら伝えて行くことが一番有効だと思いますので、そこにも力を入れていきたいと思っています。

(松澤委員)

国道122号を利用していると、道の駅がほしいなと感じます。スマートインターチェンジを作って好評を得ていると聞いていますが、もっと足元を見て、農産品など地元で直結したものを売するような場所があればいいと思っていました。蓮田の梨がどこに行っても買えず、白岡市の梨を買っている等、ちぐはぐな状態なので、何とか道の駅を活用できないかと思っています。

(環境経済部長)

道の駅の検討はしています。ただ、事業の採算性、それを作る計画も含

め、なかなか難しい状況にはなっております。継続して関係課で調整しています。スマートインターチェンジにパサール蓮田ができ、市内の農産物を売っているコーナーがあります。なかなかサービスエリアの1区画を使えることはないようですので、パサール蓮田を活用した農商工連携にも力を入れている状況です。

(武藤委員)

この進行管理全体の建付けについてお聞きします。主要事業の進行管理シートですが3か年実施計画の項目とリンクして作られているという理解でよろしいでしょうか。

(総合政策部長)

こちらの225の事業は3か年実施計画とリンクしています。

(武藤委員)

3か年実施計画を見ていますと、10年を見据えた直近の3年間の項目だと思うので、終わってしまったものなのか、区別できるとわかりやすいと思います。

また、予算額が書かれていますが、当初予算額、決算額と整合しているのか、後に出てきた額を付け加えたこともあるのかをお聞きしたいです。

(総合政策部長)

表の右側に、令和6年度の当初予算額(予算書)、決算額(決算書)を落とし込んでいます。

(武藤委員)

3か年実施計画の予算額は、保険系の特別会計分を除いた市の事業の3分の1ぐらいだったかと記憶しております。最上位計画である総合振興計画が蓮田市の事業をカバーできているのか、という声も出兼ねないと思ったことがあります。これは主要事業を225に絞ってしまったことからなので、今後3か年実施計画のあり方に柔軟性を持たせることが必要です。

実施計画を見ればかなりの部分をカバーできているなど理解できるように、予算等の関係で後から出てきたものも事業として総合振興計画に紐づけて記載していただくと、読み手もわかりやすいと思います。第6次の建付けということで考慮いただければと思います。

(議長)

確かに単年度だとわかりづらく、全体像がわかるとよいですね。

(加藤委員)

蓮田駅前に住んでいるのですが、9月、10月頃にムクドリの大群が発生して、大変な糞の被害がありました。11月になってからいなくなりましたが、来年もし来るとなると、鳥獣保護法などあっても、各家庭で対応するには限度があります。駅前だけでなく、見沼町でも被害があると聞いているので、市主体で対応していただきたいです。

もう一点、駅前の東武ストアが来年なくなると聞きました。年配の方は買い物しにくくなるので、買い物しやすい店舗があるといいと思います。

蓮田は道が狭いので、ドン・キホーテとかベルクといった規模の店舗はできにくく、駅前には空き店舗が多いので、うまく活用して小さい個人商店を作ってもらえたり、松澤委員のおっしゃったように農産物を売るお店をつくるなど、市のほうで誘致していただければ助かります。

(環境経済部長)

ムクドリの被害は、市でも認識し苦情も多く寄せられています。なぜあの周辺にくるのかわからないのですが、対策として、フクロウの置き物を置いています。猛禽類が天敵であるので、フクロウを怖がるようです。また、ムクドリが嫌がる音を出す装置についても検討しています。糞被害については、職員が出向いて清掃もしていました。来年に向けてもう少し対応ができるように検討しています。

大きな店舗を誘致するのが物理的に難しい状況にあります。今、既存店舗を盛り立てたり、空き店舗を活用して人の流れをもう少し中心市街地に呼び込みたく、いろいろ検討しているところです。その一つとして、蓮田駅西口にキッチンカーを定期的に出店してもらい、盛り立てていこうとしています。

(議長)

続きまして、議題(2)「蓮田市第6次総合振興計画の構成案について」を審議いたします。

事務局から説明をお願いいたします。

《事務局から資料4について説明》

(議長)

ただいま事務局から第6次総合振興計画の構成案について説明がありました。ご質問・ご意見等がございましたら発言をお願いいたします。

(奥沢副会長)

主要事業をいくつ設定するのかわかりませんが、基本構想には載せないということでしょうか。

(2)蓮田市
第6次総合
振興計画の
構成案ついで

(政策調整課長)

225の細かな事業までは載せませんが、基本構想ではなく基本計画において施策の方向性を方向づけます。主要な事業は見開きのページで載せる方向で考えています。

(奥沢副会長)

基本構想ではなく基本計画に、主なものは載せるということですね。

(政策調整課長)

そうです。基本構想はあくまでも最上位の構想で、その下に前期・後期の基本計画があり、その基本計画の中で大まかな事業を載せていきます。

(武藤委員)

10年後のことは、どこにどのような形で記載されるのでしょうか。10年後にはこうなっていると、何らか触れられるという理解でよろしいでしょうか。

(政策調整課長)

10年後の姿については、基本構想の部分で、あるべき姿として大まかなところを記載していきます。

(議長)

基本的には5次計画の構造を踏襲している、という理解でよいと思います。

では、他にご質問等がなければ議題3(2)についての審議は以上で終了いたします。

(3)その他

最後に、議題3「(3)その他」について審議いたします。事務局から説明をお願いいたします。

《事務局から資料5・6について説明》

(議長)

ただいま事務局からその他、蓮田市市民意識調査集計結果《速報版》、蓮田市小中学生アンケート集計結果《速報版》について説明がありました。委員の皆様、ご質問・ご意見等がございましたら発言をお願いいたします。

(石井委員)

委員の皆さん、いろんな感想を持ったと思いますが、速報版を見た感想を市長からいただきたいと思います。

(市長)

寺澤委員もおっしゃったように、子どもたちが一度蓮田を離れても、また戻ってきて、蓮田で子育てをしたいと思われるまちをつくるのが、私の一番の願いです。

大型施設がほしい、遊び場がほしい、公園がほしいという意見は絶対に出てくると思っていました。皆さん自分の家の近くにそういう場がほしいのであって、全体のまちづくりについては、子どもたちに説明しなければいけないと思っています。大人になって行動範囲が広がると、また目線も変わると思います。

小中学生アンケートについては、審議会でも中学3年生も対象にしたほうがよいと意見が出たと思います。ちゃんと真面目に答えてくれたことが頼もしいと思いました。将来、子どもたちが日本中、世界中に羽ばたいて、いつかこのまちに戻ってきてもらうためには、安心・安全、防災や、切れ目のない子育てと教育が大切だと思って取り組んでいます。

その成果として、教育は埼玉県の中でもピカイチだと思っていますので、これからも大切にしながら、高齢者には対面できめ細かく対応する、お祭りを元気にやることで人が人を呼ぶまちをつくる等、メリハリのあるまちづくりをしていかななくてはいけないと、アンケートを見て感じました。

子どもたちの意見をすべて網羅はできませんが、素直な子どもたちの意見を、今後反映させていきたいと思っています。

(馬場委員)

小中学生アンケートの集計結果がとてもおもしろいです。例えば6ページに地域ごとの蓮田市への愛着を聞いていますが、ある地域においては、「好きではない」と「あんまり好きではない」の比率が高い地域があります。その理由が今後計画を考えるうえでのポイントとなるのではないかと思います。この数値をどのように分析して、課題を抽出していくか、それを将来の発展につなげていけるかという視点でよく見ていただきたいです。

また7ページには、小学6年生から中学3年生へ年代が大人になるほど、「住みたい」と思う比率がだんだん少なくなっています。中学3年生になると、情報量が多くなり、もっといいところがあるというファクターが多くなり、こういう結果になっているのだと思います。結果の数値を単に表示するだけでなく、中に何が隠されているのか、そこが将来のまちづくりに重要になってくると思います。

子どもたちの10年後20年後のため、蓮田市の発展のために考えていかななくてはならないことだと思います。

(松澤委員)

今すぐにでもやらなくてはならないこと、長期的にやらなくてはならないこと、といろいろあると思いますが、資料5の17ページの避難場所の認知度が意外と低いです。「行ったことがないが場所は知っている」等、すぐにでもやらなくてはいけないことだと思っています。

(総合政策部長)

避難所につきましては、ハザードマップがあり、今年新しく改定し配布しているところです。定期的に広報はすだにてお知らせをし、ホームページにも載せていますが、うまく伝わっていないのだと思いました。皆さまにいかに周知していくかを課題として、今後取り組んでいきます。

(田口委員)

資料5の蓮田のブランドに相応しい地域資源や市のPRに必要なイベントで農産物が挙がっており、農商工連携推進協議会を代表して、農業への期待値をひしひしと感じております。

先ほどから農産物についての話が出ている一方で、農業者の減少が加速している現状で、梨もあまりPRしてほしくないという意見も出ています。アンケートでの期待を農業者の皆さんに伝えたいと思う一方で、今後とも、市に後押しをしていただきたいという想いがあります。

(議長)

若い人の就農があるといいですね。

(田口委員)

農地をきちっと使っていただけない場面も出てきて悩ましいです。その辺も市の方と話をしながら、問題解決をしていければと考えています。

(環境経済部長)

後継者の問題がなかなか難しいですが、農業支援は継続して行ってきたいと考えています。新しく農業に参加する、農業を始める方に対しても支援をしているところですし、技術を教えることも農協でやっているのですが、高齢化に後継者の数が追いついていない現状です。

今後もしっかりと支援をしていきたいと思っています。これからも知恵をお貸しいただけるようお願いいたします。

(議長)

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

では、他にご質問等がなければ議題3についての審議は以上で終了いたします。

本日は、大変活発な意見交換をしていただき、ありがとうございました。委員の皆様からの意見等を踏まえ、引き続き、第5次総合振興計画の着実な実施と、第6次総合振興計画策定に向けて、ご努力いただきますようお願いいたします。

これで、本日の審議会を終了いたします。会議進行にご協力いただき、ありがとうございました。議事進行を事務局にお返しします。

4 その他

(政策調整課副主幹)

中山会長、ありがとうございました。

続きまして、次第の4 その他に移ります。

事務局から連絡がございます。政策調整課長より申し上げます。

《事務局より連絡事項》

会議録はホームページに公開しますが、発言者の名前も掲載したうえで作成し、委員の皆さまに内容を確認していただき、そのあと公開になりますのでよろしく申し上げます。

次回会議は、1月20日(火)10時からを予定しております。

5 閉会

(政策調整課副主幹)

続きまして、次第の5 閉会でございます。

奥沢副会長に、閉会のごあいさつを頂きたいと存じます。

《奥沢副会長より閉会のあいさつ》

(政策調整課副主幹)

ありがとうございました。以上で令和7年度第2回蓮田市総合振興計画審議会を終了いたします。ありがとうございました。